川平地区 社協だより

第８９号
令和５年９月１日発行

川平地区社会福祉協議会
発行責任者　会 長　　菅 沼　　勇
編集　地区社協広報部

令和５年度これからの川平社会福祉協議会の活動について

会長　菅沼　勇

これまでコロナ禍の中で、行事や研修会の開催に制限がありましたが、令和 5 年度は社会活動として「コロナウィルス感染症」の対策を講じながら活動を展開いたします。

社協の会員の皆様には、地域福祉活動への関与と推進に対し、深く敬意を表します。

今年 2 月には住民の皆様のご協力をいただき、社協アンケートを実施しました。このアンケートの回答結果に基づき、問題点や必要な支援の内容を把握し、それに対応するための体制構築に努めてまいります。

「問題解決には時間がかかりますが、その答えはアンケート結果に寄せられた住民の声にある」という考えを念頭に、令和５年度の活動を進めてまいります。

活動の事業計画については、総会資料で案内しておりますが、地域内において交流の場を増やし、さらに充実させるために、各地域の小地域福祉ネットワーク活動やサロン活動の支援を行います。

私たちは、住民同士がお互いに「この地域に住んで良かった」と感じられるような、地縁を大事に安全で安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでまいります。

そのための基盤として、昨年度に引き続き、川平地域の各町内会をはじめ、包括支援センター、介護施設、医療機関などとの連携を維持し、情報や意見の交換を行いながら、地域福祉の実現に向けて活動してまいります。皆様の一層のご支援を心からお願い申し上げます。

令和５年度　川平地区社会福祉協議会総会

「令和５年度　川平地区社会福祉協議会総会」は、通常開催にて開催され、令和５年４月16日、すべての議案について承認されました。

《令和５年度　事業計画》

１．福祉活動について

（１）「小地域福祉ネットワーク活動」の推進

①高齢者，障害者等世帯の安否確認活動への支援

②日常生活支援活動や福祉活動への支援

＊令和５年度社会福祉協議会会費納入額の 25%を各町内会へ

（２）高齢者を対象とする「いきいきサロン活動」の推進

支援：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

〇対象：６５歳以上の一人暮らしの方，および７０歳以上の方

〇１回あたり 8,000 円助成（社協より 5,000 円，日赤より 3,000 円）

＊年６回まで申請により助成（報告書の提出）

（３）乳幼児親子対象の子育てサロン活動“かわだいラッコ”活動の推進

主催：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

〇子育てサロン「かわだいラッコ」を年間９回開催。

対象：未就学児の親子・家族・妊婦

場所：川平コミセン大ホール他

（４）仙台市社会福祉協議会青葉区事務所のＣＳＷと協働による課題解決推進地区の継続

仙台市社会福祉協議会青葉区事務所とはＣＳＷ※（コミュニティソーシャルワーカー）と協働による課題解決推進地区を継続する。

アンケート結果の分析を行い、各町内会と意見交換して地域の福祉活動の充実に向けた取り組みを行います。

また、桜ヶ丘地域包括支援センターと国見ヶ丘地域包括支援センター、諸団体、福祉事業施設等との情報交換を行い連携を深めます。

２．募金活動について

（１）日本赤十字社社資　　５月１日～　６月３０日・・・日本赤十字社社員増強運動実施

（２）社会福祉協議会会費　　７月１日～　８月３１日・・・会員増強運動実施

（３）赤い羽根共同募金　　１０月１日～１１月３０日・・・全国一斉共同募金運動実施

3．研修活動について
（1）福祉活動研修　　○高齢者福祉などについて
（2）日赤奉仕団研修　　○非常災害時の対応などについて
（3）その他の研修会　　○福祉施設・介護施設などの見学や講話

4．広報活動について
○「社協だより」年間2回発行　（第89号・R5年9月、第90号・R6年3月）
＊各町内会や各種関係団体の福祉活動紹介
＊各種研修会・講習会の広報と行事報告など

5．青少年健全育成活動支援について
○桜丘中学校区青少年健全育成協議会への助成
○中山中学校区青少年健全育成協議会への助成
○川平学びのミュージアム推進委員会への助成

6．各種行事・研修等への参加について
○川平学区連合町内会，福祉関連機関などの行事や会議、及び研修会への積極的参加

7．その他
○川平赤十字奉仕団倉庫（中山8丁目21-68）の救援装備の保管と活用
○非常用炊き出し用具の地域への貸し出し
○車椅子の保管と活用
○子育てサロン使用のおもちゃ及びロッカーなど

《令和5年度 川平地区社会福祉協議会収支予算》

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

○収入の部　　(単位：円)

科目		前年度決算額	本年度予算額
1　会費		734,650	734,650
	1)普通会費	724,650	724,650
	2)特別賛助会費	10,000	10,000
2　助成金		855,753	784,825
3　共同募金		709,596	709,596
4　事業委託金		52,499	50,000
5　研修負担金		13,000	20,000
6　寄付金		100,000	50,000
7　諸収入		11	8
8　繰越金		846,676	882,931
合計		3,312,185	3,232,010

○支出の部　　(単位：円)

科目		前年度決算額	本年度予算額
1　会議費		68,736	80,000
2　旅費		28,000	50,000
3　渉外費		8,788	55,000
4　需用費		51,194	55,000
5　役務費		53,835	60,000
6　事業費		301,468	427,000
	1)ｻﾛﾝ活動費	95,757	220,000
	2)ﾈｯﾄﾜｰｸ活動費	183,662	184,000
	3)募金活動費	22,049	23,000
7　研修費		68,015	80,000
8　広報費		144,870	160,000
9　青少年育成助成金		20,000	30,000
10　送付金		734,650	734,650
11　共同募金		709,596	709,596
12　諸費		4,000	10,000
13　予備費		236,102	780,764
小計		2,429,254	3,232,010
繰越金		882,931	0
合計		3,312,185	3,232,010

《令和5年度　　川平赤十字奉仕団収支予算》

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

○収入の部　　(単位：円)

科目	前年度決算額	本年度予算額
1　会費	1,095,315	1,095,315
2　日赤交付金	263,344	263,344
3　諸収入	3	3
繰越金	386,458	381,388
合計	1,745,120	1,740,050

○支出の部　　(単位：円)

科目		前年度決算額	本年度予算額
1　会費送付金		1,095,315	1,095,315
2　会議費		23,094	40,000
3　事務費		35,581	73,000
	①消耗品費	17,581	20,000
	②交通費	18,000	30,000
	③通信費	0	3,000
	④渉外費	0	20,000
4　事業費		153,477	235,000
	①研修費	28,838	60,000
	②高齢者福祉費	94,213	120,000
	③広報費	7,425	20,000
	④募金活動費	23,001	25,000
	⑤諸費	0	10,000
5　予備費		56,265	296,735
小計		1,363,732	1,740,050
繰越金		381,388	0
合計		1,745,120	1,740,050

《令和5年度　川平社会福祉協議会役員(理事）名簿》

任期　令和5年４月１日～令和6年３月３１日

役職	氏名	推薦団体	備考
会　長　（兼） 川平赤十字奉仕団長 川平地区共同募金会会長	菅沼　　勇	川平団地	
副会長　（兼） 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区共同募金会副会長	阿部　幸子	中山北部	経理
副会長　（兼） 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区共同募金会副会長	郷古正太郎	川平団地	研修
総務部長	山本　卓子	西勝山	募金責任者
経理部長（兼）	（阿部幸子）	（中山北部）	
福祉部長	近藤　淳	川平団地	
募金部長	谷岡　洋志	川平団地	募金責任者
広報部長	秋山　俊明	民児協	
総務副部長	田中　順子	民児協	
経理副部長	若生　弘美	民児協	
福祉副部長	五十嵐　靖子	民児協	
募金副部長	臼倉　孝之	中山北部	募金責任者
広報副部長	大川　唯	中山北部	
地域福祉活動推進員	佐藤　純夫	民児協	福祉
福祉部員	遊佐　洋子	西勝山	
福祉部員	菊地　晴美	西勝山	
福祉部員	岩間　浩子	民児協	
福祉部員	佐藤　弘美	川平わかば	
募金部員	福井　満	民児協	
募金部員	岩本　紗子	杉塒	募金責任者
募金部員	吾妻　ひとみ	川平わかば	募金責任者
監　事	遠藤　雅利	民児協	
監　事	佐々木　清文	杉塒	

〇川平赤十字奉仕団では，団長・副団長以外の役員全員が「団員」となります。
〇各町内会の福祉部長が募金責任者となります。

子育てサロン「かわだいラッコ」

今年度の子育てサロン

★令和５年度開催スケジュールが決定しましたのでお知らせいたします。

9/22、10/27、11/24、12/22、1/26　計５回　　時間：10：00～11：30分

場所：川平コミュニティーセンター

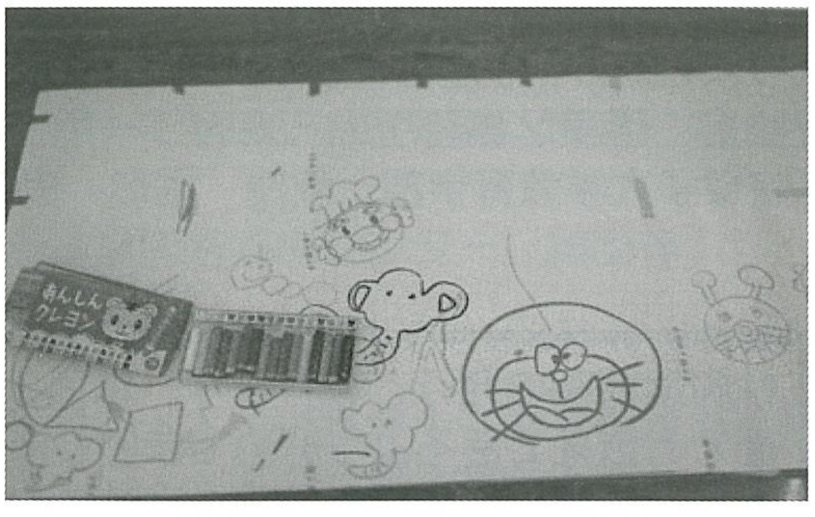
★初回 9/22(金)のお知らせ

・保健師さんをお招きします。
子育ての不安なこと、疑問？本当にこれでいいの～？といったことを、保健師さんに気軽に質問できる機会を作ります！

・広々した大ホールで、お子さんにのびのびと遊んでもらいたいです。

昨年度の実施状況

昨年度の実施状況



（川平地区社協福祉部長　近藤　淳・記）

より良い地域をつくるための川平地区住民アンケート調査の結果について

2023年２月に、川平学区連合町内会の全世帯（3,396世帯）を対象に川平地区社会福祉協議会アンケートを実施しました。
川平学区連合町内会を構成する「川平団地町内会」、「西勝山町内会」、「中山北部町内会」、「杉塘町内会」、「川平わかば町内会」の皆さんのご協力で923件（回収率２７．２%）のアンケートを回収することができました。

アンケートの回答内容で日常生活に関わることで困難なこと、不安を感じている世帯は３２．３%あり、地域の高齢化率がこれから高まっていく傾向にありますので、生活支援を求める傾向が強まります。

特に生活支援を求める内容で件数が多いのは、雪かき、庭木の手入れ、草取り、買い物ですが、地形、商業施設、同居人の構成等を考慮して全体を推測すると今回のアンケート結果の数に限定することなく、未回答者、町内会に未加入者がいることから、さらに多い件数と判断する必要があります。
また、生活支援を求める件数が少ないことで対応の有無を判断することはできません。
生活上、困っている実態を受け止め、対応策を検討する必要があります。

地域にボランティア団体（有償）やお手伝いできる人がいたら頼んでみたいと回答した人は、79件ありました。また、「分からない」と回答している人は、100件ですのでアンケートに回答していない人を含めてボランティアの内容が分かれば、さらにボランティア支援を求める人は増えると予測します。
また、支援者になるボランティア活動に協力いただける人は、68人でした。
依頼する人と支援する人の結びつきの仕組みを構築する必要があります。

さらにアンケート結果で気になることは、地域行事への参加状況と認知度が低いことです。
地域行事について知っていても、参加しない人が意外と多いことです。
このことから地域行事の内容、広報活動を改善する必要があります。

参加している人は、元気で動ける人です。地域行事に参加している人も今後の活動では、大事です。
しかし、地域には仕事に従事していることや自分の身体の状況、同居人の状況等で動けないので、地域行事への参加できないこと、役員等の活動につけないこと、ボランティア活動に参加できない人が多数いることを受け止めなければなりません。

行政をはじめ、諸団体は、元気で動ける人の地域行事参加に軸足を置いて助成金、交付金
会費の支出、活動結果の報告内容になっている傾向があり、参加できない人への対応を一考する必要があります。
このアンケート結果を分析し、川平地区社会福祉協議会として次の活動を行います。
（１）自由記載欄にかかれた事項について福祉活動として扱える事項と町内会活動に関する事項を分別し、各町内会と今後の対応をについて意見交換を行います。
（２）地域にある灯油、新聞など配達組織、生活支援組織、医療介護の組織、建設業の個人・組織、など、日常の生活で住民が利用できる組織の業務内容、連絡方法、場所等を調査し、住民に周知します。
（３）この地域は、人が集まる場所が限られ、マイスクール児童館など駐車場がない上、建物の２階にあるなど利用者にとって利用しにくい施設が多いです。近隣地域に比較して住民数、世帯数が同等ですが、施設に整備状況が十分とは言えないので施設の充実は行政に働きかけを行います。
（４）身体が動ける人、時間を使える人の前提での行事・イベントになっています。高齢化等で移動手段のない人、身体的状況で動けない人、生活環境または、同居家族の介護等で動けない人への福祉活動を今回のアンケートから生活支援できるボランティア組織について各町内会、大学、高校、中学校との教育機関、地域の事業組織と協力して構築できるよう取組みます。

末筆になりましたが、今回のアンケートを実施するにあたり川平学区連合町内会を構成する町内会、仙台市社会福祉協議会　青葉区事務所のCSW　一戸　翔　氏、東北福祉大学総合福祉学部　准教授　村山　くみ氏、宮城学院女子大学教育学部　教授　尾形　良子　氏にご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

編集後記	今年度最初の発行となります。編集スタッフも入れ替わりまして、できるだけ読みやすい、紙面でお伝えできるよう努めてまいります。 また、皆様からの地域情報の寄稿をお待ちしております。　≪編集スタッフ一同≫